

令和5年11月1日
関東運輸局

《公共交通シンポジウム2023》

「あなたのまちをデータで見ると何が分かる？」
～都市データの交通分野への活用法～」を下記のとおり開催します

本シンポジウムは、都市構造可視化計画での交通分野におけるデータ活用の具体例等について、実際の自治体を取り上げ、データの「見える化」の実演を行い、自治体がどのようにデータ活用したのか実例を踏まえて事例紹介を行うことで都市データを交通分野に活用することの意義について考えていきます。

記

【開催概要】

1. 日 時：令和5年12月11日（月）14:00～16:40
2. 場 所：日比谷コンベンションホール（日比谷図書文化館地下1階）
（東京都千代田区日比谷公園 1-4）
3. 参加費：無 料
4. 参加方法：現地・オンライン
5. プログラム
開会挨拶：関東運輸局長 勝山 潔
基調講演+データ活用の実演：赤星 健太郎氏（日本大学 客員教授）
事例紹介①：宮坂 悠哉氏（長野県茅野市）
事例紹介②：畑中 良介氏（元福岡県建築都市部都市計画課）
質疑応答：登壇者3名同士及び参加者からの質疑応答
（司会進行：交通政策部長 落合 裕史）
6. 参加申込：参加又は取材希望の方は、申込フォームで受け付けます。
<https://forms.gle/WFPA94M4K5DRtLG28>
※現地参加は定員（70名）に達し次第、締め切りとさせていただきます。
7. 主 催：関東運輸局



【問い合わせ先】

関東運輸局交通政策部 交通企画課 西野、若林、池田
tel:045-211-7209 fax:045-201-8807

【同時配布先】

横浜海事記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、関東運輸局記者会「ハイタク等専門紙」、物流専門紙

2023.

12/11

月曜日

14:00~16:40

現地・オンライン
併用開催

関東運輸局公共交通シンポジウム2023

あなたのまちを データで見ると 何が分かる？

～都市データの交通分野への活用法～

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

公共交通利用圏と働く場所との関係

色：公共交通利用圏

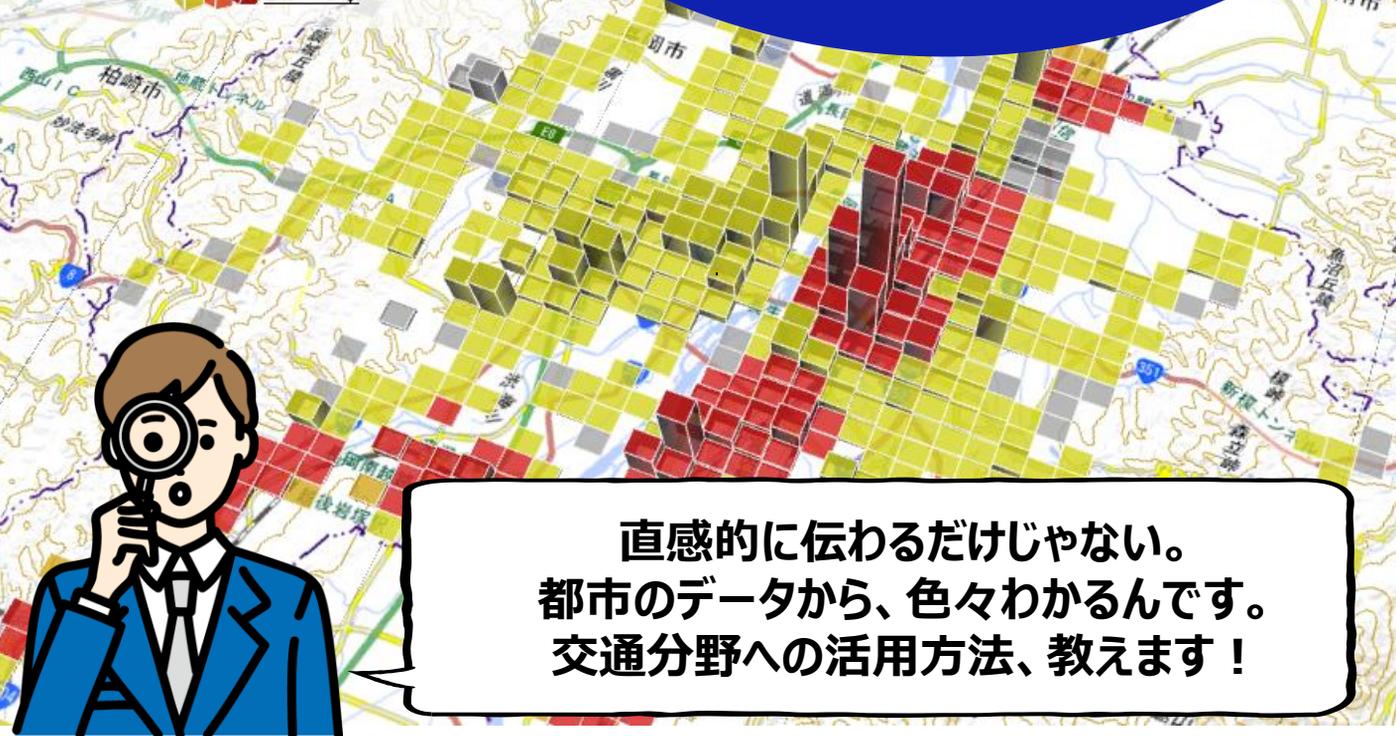
■ 駅・バス利用圏

■ 駅利用圏

■ バス利用圏

■ 駅・バス利用圏外

高さ：事業所
従業者数
(100人
/100m)



直感的に伝わるだけじゃない。
都市のデータから、色々わかるんです。
交通分野への活用方法、教えます！

プログラム

14:00～ 開会挨拶 関東運輸局長

14:10～ 基調講演、データ活用の実演

日本大学客員教授 赤星 健太郎 氏
「交通とまちづくりの一体化」

15:10～ 事例紹介

①宮坂 悠哉 氏 (長野県茅野市)

「交通分野における都市データの「見える化」について」

②畑中 良介 氏 (元福岡県建築都市部都市計画課)

「都市構造可視化計画を合意形成ツールとしたまちづくり」

15:30～ 休憩

15:50～ 質疑応答、意見交換

16:40 閉会

参加案内

● 現地開催

場所：日比谷コンベンションホール

(詳細は裏面をご確認ください)

定員：70名

(定員になり次第、締め切りとさせていただきます)

● オンライン YouTubeでのリアルタイム配信

(オンライン参加でお申し込み頂いた方に、視聴用URLを事務局より送付いたします)

● 参加申し込み

令和5年12月4日(月)までに、右のQR
コードまたは以下のURLよりお申し込み
ください。

URL:<https://forms.gle/WFPA94M4K5DRtLG28>



● 参加無料

主催：国土交通省関東運輸局

お問い合わせ先：関東運輸局交通政策部交通企画課
電話 045-211-7209

本シンポジウムでは、「まちづくりと交通の連携」の基盤となる、

都市のデータをどう「見える化」し、 交通分野において「活用する」か

にスポットを当て、都市構造可視化計画でのデータ活用の具体例等を示しながら、今後のデータ活用のあり方について考えていく。

講師紹介

基調講演

あかほし けんたろう

赤星 健太郎 氏 (日本大学客員教授)



熊本県熊本市生まれ。1996年京都大学工学部交通土木工学科卒業、同年現国土交通省入省、交通政策、都市政策、国土政策等を担当。内閣府都市可視化調整官として、データを活用した交通まちづくり等を推進。現在は日本大学客員教授、都市計画学会都市構造評価特別委員会委員、OGC CityGML SWGメンバー、東京都台東区技監等。博士(社会学)、技術士(総監、建設部門(鉄道、都市及び地方計画))、情報処理技術者(ITストラテジスト、プロジェクトマネージャ等)、カラーコーディネーター(環境色彩)。

基調講演では、都市構造可視化計画でどんなことができるのかの説明に加えて、実際にスクリーン上で、都市構造可視化計画の地図上のグラフを示しながら、交通やまちづくりのデータ分析の方法や、地域の抱える課題解決の糸口などをお話いただく。

事例紹介

みやさか ゆうや

宮坂 悠哉 氏 (長野県茅野市)



長野県茅野市生まれ。2009年4月長野県茅野市役所に入庁。農林課や収税課に勤務した後、都市計画課にてまちづくりに係る業務を経験し、駅前広場の再開発事業や区画整理事業に携わる。2018年から都市構造可視化計画に携わり、茅野市における都市計画の検討や駅前の活性化、道路整備などで、都市構造可視化を積極的に活用してきた。それらを主導する宮坂氏は、「都市計画ビジュアルコミュニケーター」検定資格を保有しており、その確かな知識に裏打ちされた技術力を用いて、都市構造可視化計画を現場で活用する第一人者である。

事例紹介では、茅野市がAI乗合オンデマンド交通を導入するに当たり活用したバス路線やバス乗降車数の可視化データ等を用いて、交通分野における「見える化」の取組について紹介いただく。

はたなか りょうすけ

畑中 良介 氏 (元福岡県建築都市部都市計画課)



鹿児島県鹿児島市生まれ。2005年4月福岡県に建築職として入庁。県土整備事務所や本庁では都市計画課、県営住宅課、建築指導課などに勤務。都市計画課では、都市計画基礎調査、都市構造可視化計画、区域区分、地域地区等の業務に携わる。その他都市のデータを活用した公営住宅の適正配置検討やGISを活用した応急危険度判定業務のデジタル化などを担当。現職は2022年4月から、福岡県住宅供給公社建設事業部建設計画課で参事を務める。

事例紹介では、都市機能が集積する拠点と公共交通軸による広域的なまちづくりの方針検討や市町の都市マスや立地適正化計画等の策定支援にどのように活用してきたかについて紹介いただく。

会場案内

日比谷コンベンションホール

日比谷図書文化館 地下1階

(東京都千代田区日比谷公園 1-4)

東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分

都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分

東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分

JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

